

# 12 カラマネを支えるワークフロー



**RGBフロー**というのは、画像のレタッチなどをRGB段階で行い、最終段階でCMYK変換やシャープネス処理を行うような方法だ。これが、とりあえずCMYK化したところからスタートする**CMYKフロー**との違いだ。

**RGBはR、G、B3つの数値が同じときにニュートラル(無彩色=白~灰~黒)になるが、CMYKはC、M、Yの数値を同じにしてもニュートラルにならない。**その点が、CMYKモードと比べ、補正がしやすい部分だ。

またトーンカーブを大きく動かしても**CMYKに比べ画質の劣化が少ない**というメリットがある。

RGBフローに関しては、すでに技術的に確立されているので、あとは各人がきちんとプロファイルを付けて運用するとか、アプリケーションのカラー設定を正しくしておくといったことで、問題なく運用ができる。

ただし、画像にタッチする人すべてが、これらのルールを守る必要があるので、「自分によく分からないから、人に任せたい」というような場

合でも、最低限のルールは守らなければならない。

昔からやってきたやり方で問題はない、とっ思っ  
ていても、実は自分の段階で色をおかしくしてしま  
い、そのデータを後工程でフォローしてくれて  
いるだけ、というケースも多い。カラマネージ  
メントの環境を整え、後工程に迷惑をかけない  
ようなデータを受け渡すことが重要だ。

